World Liberal Arts Center WLAC

The Effects of Language and Psychology in the Learning of English

使用言語
英語
参加無料
要申込み

学習理論として最も良く使われるbehaviorismはChomskyの出現後cognitiveな学習理論（言語規則の理解）に変わった。
しかし、言語規則を「知っている」だけでは、言語を使えるようにならないことから、SLAのnoticingやfocus-on-formの重要性が強調された。
また、Krashenは、language acquisitionは意識的なlanguage learningの結果ではない、としたのに対して認知心理学では declarative knowledge（知識）は色々なプロセス（言語形式の練習や有意味な使用）によってprocedural knowledgeに変わり、「習得」につながるとした。新学習指導要領では、SLAのnoticingによって気づいたことを、declarative knowledgeである知識技能から、「思考・判断・表現」することにより、procedural knowledgeへと変換することで、can-do項目（英語を使って～ができる）に対して、Yes, I can.と答えられる生徒の育成を目標としている。
本ワークショップでは、上記について実例を示しながら考える。

2019年 12月 14日(土)

10：30～12：00、13：00～14：30

場　所　名古屋外国語大学 2号館226教室
主　催　名古屋外国語大学英語教員ワークショップ
後　援　ワールドリベラルアーツセンター
主な対象者　中学校・高校・大学の英語教員、本学教職員、ALT、学生、一般

申込み方法
当日参加も可能ですが、準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。
https://req.qubo.jp/wlac/form/20191214

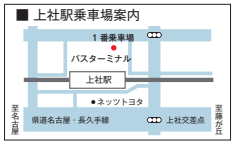
講　師

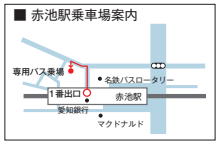
吉田 研作

上智大学特任教授
言語教育研究センター長

1948年京都市生まれ。上智大学、米国ミシガン大学で学ぶ。
現職、上智大学特別招聘教授・言語教育研究センター長。
元上智大学国際言語情報研究所所長、元上智大学外国語学部長
文科省、「英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用促進に関する連絡協議会」委員、大学入試センター「英語四技能実施企画部会」部長、「大学入試センター運営評議委員会委員」、「国土交通省航空英語能力証明審査会」会長、「NPO小学校英語指導者認定協議会」会長、「Asia TEFL」Journal Advisory Board Member、など。

■本学へのアクセスについて■
当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス（無料）をご利用ください。
専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。





問合せ先
名古屋外国語大学　0561-74-1111（代表）
英語教員ワークショップ 事務室　0561-75-2044

本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。
会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。